

# 東海経済レポート

## （2017 年 2 月）

～温度差を残しながら、緩やかに回復～

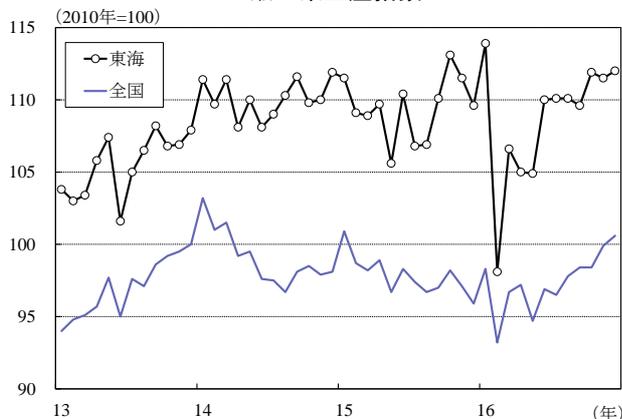
### 【足元の経済情勢と当面の見通し】

- ◇ 東海経済の景況感は、緩やかに回復している状況。企業部門は、生産が相応の水準で推移しているうえ、設備投資の先行指標である金属工作機械の受注もプラス転化。ただ、下げ止まりの兆しを見せていた輸出でのマイナス幅拡大など、一部には足踏みの動きが残る。家計部門は、引き締まった雇用環境の下、自動車販売や小売売上高などが堅調ながら、住宅着工の減速など留意点も出てきている。
- ▶ 生産は、12 月の鉱工業生産指数が前月比+0.4%と 2 ヶ月ぶりに上昇。電子部品・デバイスが同▲7.9%と減少に転じたものの、主力の輸送機械が同+3.7%と 3 ヶ月ぶりに上昇したほか、生産用機械も同+3.1%とプラスに転じるなど、総じて堅調を維持。同月の指数は 2016 年中で 2 番目の高水準となった。
  - ▶ 設備投資は、先行指標とされる金属工作機械の 12 月の国内受注額が前年比+3.6%と 15 ヶ月ぶりに増加。主な受注先である一般機械工業向け、自動車工業向け、電気機械工業向けが揃って底堅い受注実績であったことが主因。
  - ▶ 輸出額（円ベース）は、1 月に前年比▲6.4%と 14 ヶ月連続で減少。相手国別では、中国向けが同+7.2%と 3 ヶ月連続で増加したものの、米国向けが同 2 桁減となるなど、他地域向けは軒並み減少。品目別では、6 ヶ月連続で増加した自動車部品以外は総じて不振。主力の自動車も同▲15.0%と 12 ヶ月連続でマイナス。
  - ▶ 雇用は、需給の引き締まった状況が継続。12 月の有効求人倍率は、愛知県が 1.70 倍と 2008 年 7 月以来となる水準まで、三重県も 1.49 倍と 2006 年 4 月以来となる水準まで、それぞれ上昇。岐阜県は 1.68 倍と 4 ヶ月ぶりに低下したものの、引き続きリーマン・ショック後の最高水準域で推移中。
  - ▶ 個人消費は、12 月の小売主要 3 業態の販売が前年比+0.6%と、3 ヶ月連続で増加。前年比マイナスが続く百貨店に加え、スーパーも 3 ヶ月ぶりに減少したものの、コンビニの伸びが 3 業態合算の販売額を牽引。また、12 月の新車販売台数は同+10.3%と、6 ヶ月連続での増加、2 ヶ月連続での 2 桁増となった。
  - ▶ 住宅着工は、12 月に年率換算で 7.7 万戸と、前月の 9.3 万戸から大きく減少。高水準の伸びを続けてきた貸家が前年比 2 桁減となり、全体を下押し。

### 【生産①】

12月の鉱工業生産指数は前月比+0.4%と2ヵ月ぶりに上昇。2016年中で2番目の高水準となった。

鉱工業生産指数



(注)『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。  
(資料)中部経済産業局統計等より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

### 【生産②】

業種別では、主力の輸送機械が前月比+3.7%と3ヵ月ぶりに上昇し、全体を牽引。

業種別の鉱工業生産(東海)

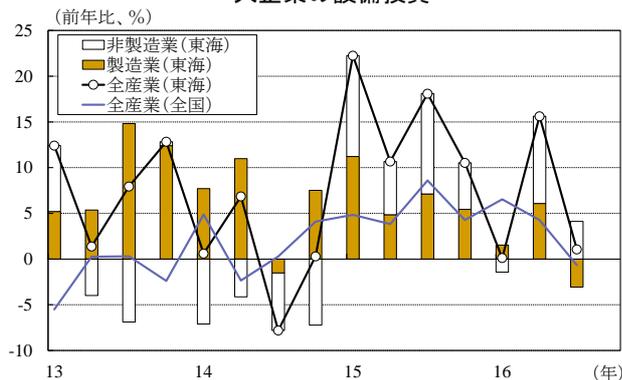


(注)1.『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。  
2.( )内の数値は、業種毎の付加価値額の比率(平成22年基準)。  
中部経済産業局算出  
(資料)中部経済産業局統計等より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

### 【設備投資】

7-9月期の大企業の設備投資は、前年比+1.1%と8四半期連続で増加。投資額も相応水準を維持。

大企業の設備投資

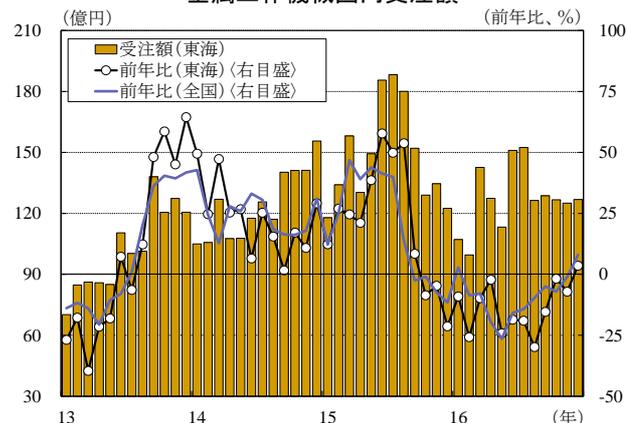


(注)1.『東海』は愛知、岐阜、静岡、三重の4県。  
2.資本金10億円以上の企業を対象。  
3.設備投資額はソフトウェアへの投資を除いた金額。  
(資料)東海財務局統計等より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

### 【金属工作機械受注(国内)】

金属工作機械の国内受注額は12月に前年比+3.6%と、15ヵ月ぶりにプラス転化。

金属工作機械国内受注額

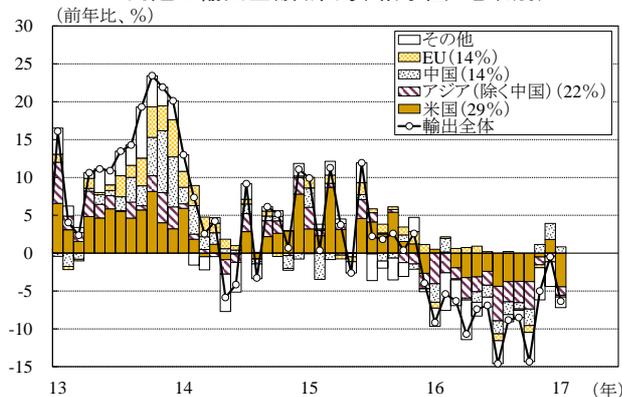


(注)東海は中部経済産業局管内の主要8社。  
(資料)中部経済産業局統計等より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

### 【輸出】

1月の輸出額(円ベース)は、前年比▲6.4%と14ヵ月連続で減少。マイナス幅も拡大。

円建て輸出金額(東海、相手国・地域別)

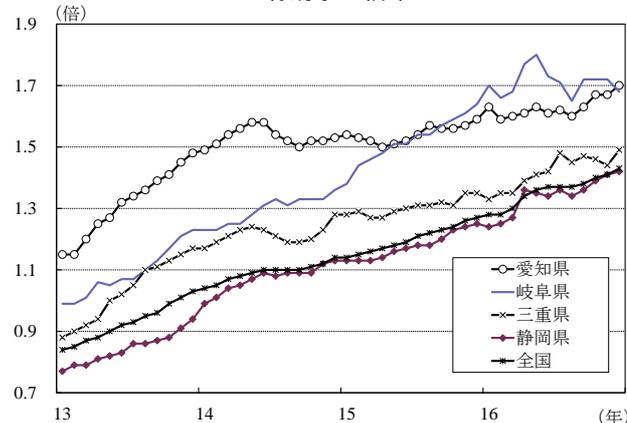


(注)1.『東海』は名古屋税関管内(愛知、岐阜、三重、静岡、長野)。  
2.( )内の数値は2016年輸出総額に占めるシェア。  
(資料)名古屋税関統計等より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

### 【雇用】

12月の有効求人倍率は愛知県が1.70倍と、2008年7月以来となる高水準にまで上昇。

有効求人倍率

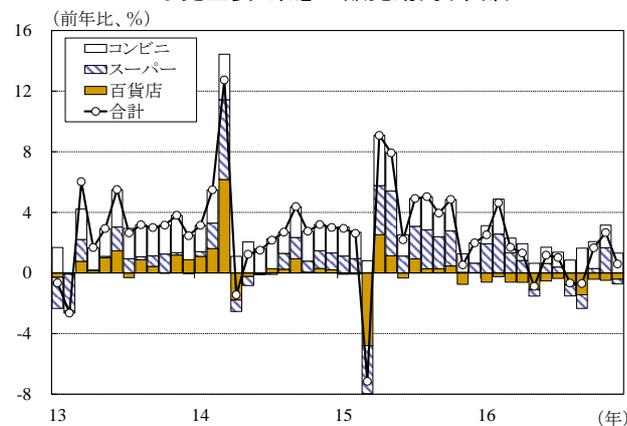


(注)『有効求人倍率』は、「有効求人数」を「有効求職者数」で除したもの。  
(資料)厚生労働省統計等より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

## 【個人消費】

12月の小売主要3業態の販売は前年比+0.6%と3か月連続で増加。コンビニの伸びが全体を牽引。

小売主要3業態の販売動向(中部)

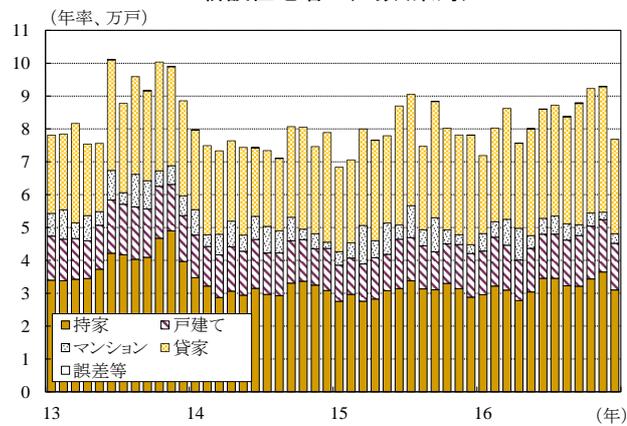


(注)『中部』は愛知、岐阜、三重、富山、石川の5県。  
(資料)中部経済産業局統計等より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

## 【住宅投資】

12月の住宅着工戸数は年率換算で7.7万戸と、前月から大きく減少。貸家の着工減少が全体に影響。

新設住宅着工戸数(東海)

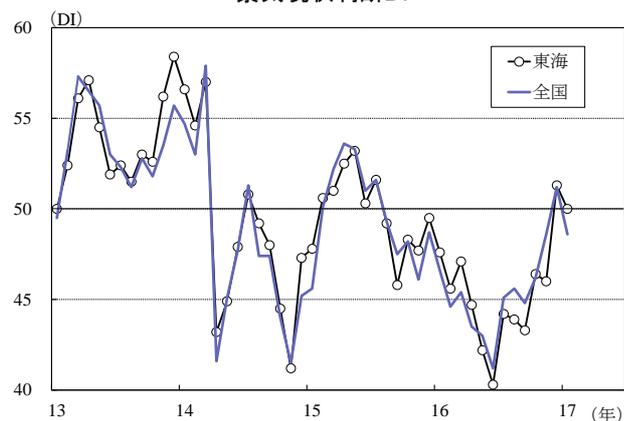


(注)『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。  
(資料)国土交通省統計より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

## 【景気ウォッチャー調査】

1月の景気現状判断DIは50.0と、前月から低下したものの、横ばいを示す50の水準は維持。

景気現状判断DI

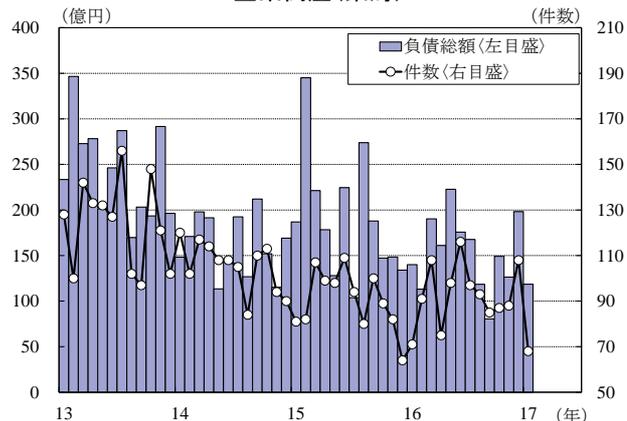


(注)『東海』は愛知、岐阜、三重、静岡の4県。  
(資料)内閣府資料より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

## 【倒産件数】

1月の企業倒産件数は68件、前年比▲4.2%の減少。負債総額も同▲15.3%の減少。

企業倒産(東海)



(注)『東海』は愛知、岐阜、三重、静岡、長野の5県。  
(資料)東京商工リサーチ資料より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

## 【原油価格】

WTI先物は、協調減産効果への期待とシェールオイルの増産観測が拮抗。1バレル53ドル前後で推移。

原油価格

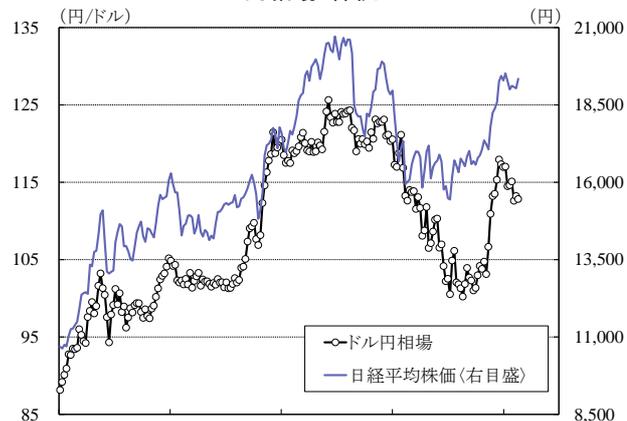


(注)『原油価格』はWTI先物。  
(資料)Bloombergより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

## 【円相場・株価】

日米首脳会談が波乱なく終了したこと等を受け、円高方向への動きは一服。株価も緩やかに回復。

円相場・株価



(資料)Bloombergより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

照会先：三菱東京 UFJ 銀行 経済調査室（名古屋）

中村 健彦 takehiko\_nakamura@mufg.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の販売や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当室はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。また、当資料全文は、弊行ホームページでもご覧いただけます。